

## 第24回品川区世論調査について

### 1 目的

世論調査は、区政に対する区民の意識や意向を把握し、今後の施策の資料とするため、昭和49年から2年に一度実施している。

### 2 調査の概要

- (1) 調査項目 経年変化を見る「定住性」「重点施策」などの項目に加え、「地域活動への参加」、「地域スポーツの推進」、「ごみの減量」、「防災」など12分野31問
- (2) 調査対象 区内在住の18歳以上の男女 2,500人  
(18歳以上 352,757人。令和2年8月1日現在)
- (3) 抽出方法 層化2段無作為抽出法  
※品川、大崎、大井、荏原、八潮の5地域を基本に8地域に層化し、地域の人口比に応じて地点数を比例配分する。
- (4) 調査方法 郵送配布/郵送回収またはインターネット回答
- (5) 有効回答数 1,526人(内訳 郵送918件 インターネット608件)
- (6) 回収率 61.0%
- (7) 調査期間 令和2年9月10日～9月30日

### 3 報告書の発行

- (1) 「第24回品川区世論調査報告書」 500部
- (2) 概要版「第24回品川区世論調査あらまし」 4,000部  
概要版「第24回品川区世論調査あらまし」(英語版) 100部

### 4 周知

広報しながわ2/11号、区ホームページ掲載、区政資料コーナー・地域センター等で概要版を配布

## 第24回

# 品川区世論調査 あ ら ま し

この小冊子は、2020（令和2）年に実施した「第24回世論調査」の要約版です。今回は、経年変化をみる定住性や重点施策などの項目に加え、地域活動への参加、環境、地域スポーツの推進などの項目についてもおたずねしました。調査の結果は、今後の区政運営にあたり貴重な資料として活用してまいりたいと考えております。

ご協力いただきました区民の皆様には心より御礼を申し上げますとともに、調査結果の概要をお知らせいたします。

### 調査の内容

- 1 定住性について
- 2 生活環境について
- 3 重点施策について
- 4 地域活動への参加について
- 5 地域スポーツの推進について
- 6 みどりについて
- 7 環境について
- 8 ごみ減量・リサイクルについて
- 9 心の健康について
- 10 防災について
- 11 広報と情報化について
- 12 シティプロモーションについて

### 調査概要

- 調査対象：品川区在住の満18歳以上の男女  
（令和2年8月1日現在）
- 抽出方法：層化2段無作為抽出法
- 対象者数：2,500人
- 調査方法：郵送配布・郵送回収またはインターネット回答
- 回収数：1,526人
- 回収率：61.0%
- 調査期間：令和2年9月10日～9月30日
- 調査機関：株式会社 CCNグループ

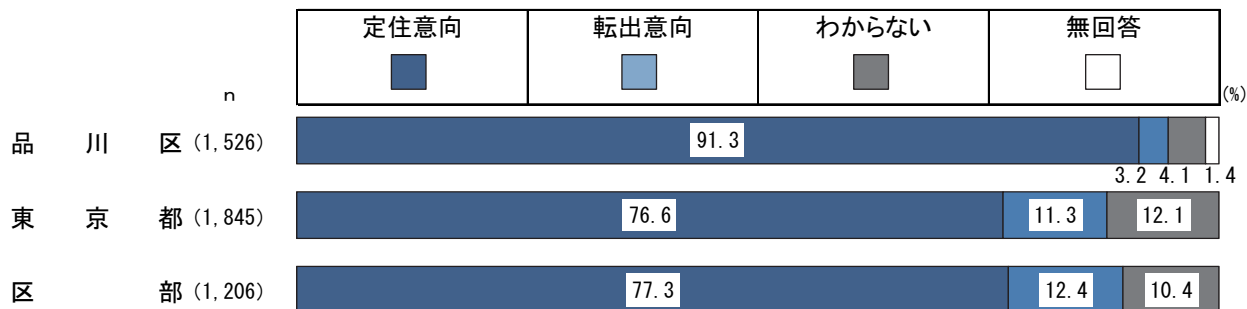
この要約版は、世論調査の結果を抜粋し、わかりやすくまとめたものです。詳しい調査結果は、第24回世論調査として区公式ホームページと、区政資料コーナー（第三庁舎3階）または、図書館で閲覧することができます。

# 1 定住性について

## ■ 定住意向

### 区民の定住意向は高い

定住意向をたずねたところ、「当分は住みたい」（48.2%）と「ずっと住みたい」（43.1%）を合わせた『定住意向』は91.3%であり、非常に高い割合となっています。また、東京都、区部との比較で見ると、東京都より14.7ポイント、区部より14.0ポイント高くなっています。

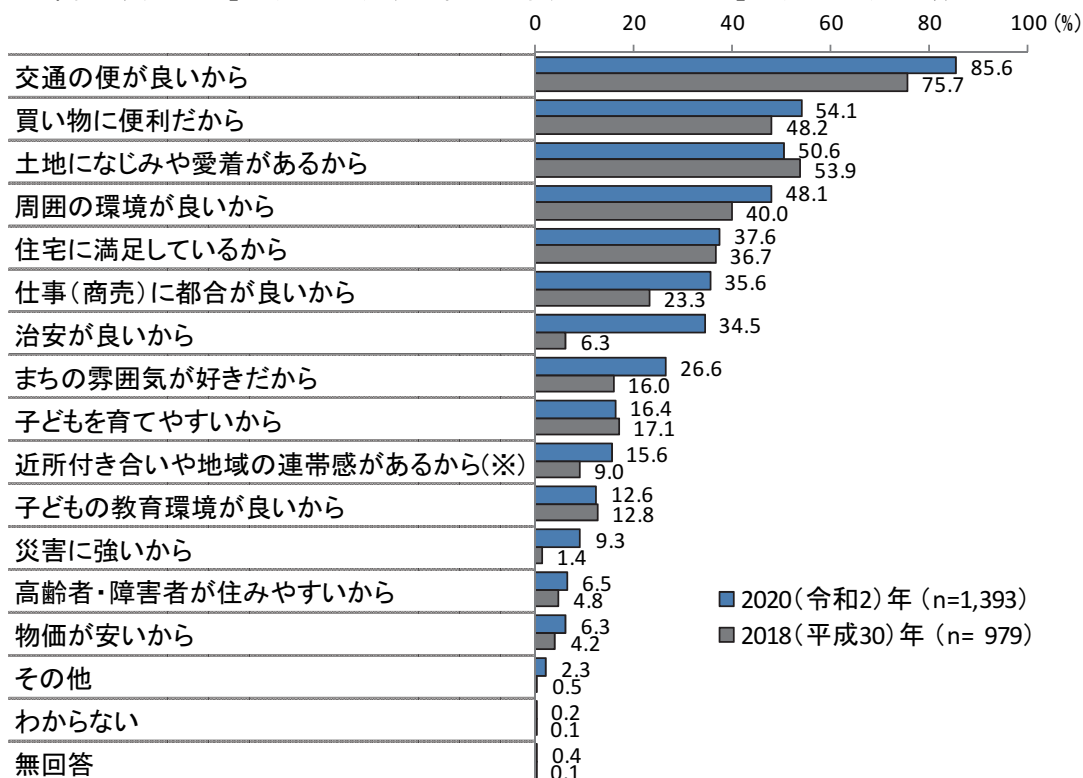


※注 意 点:東京都と区部は地域定住意向の調査結果  
資料出所:東京都生活文化局「都民生活に関する世論調査」(令和元年)

## ■ 定住意向理由

### 交通の便が良いという理由が上位

品川区に「ずっと住みたい」「当分は住みたい」と思う理由は、「交通の便が良いから」が85.6%で最も高く、次いで「買い物に便利だから」（54.1%）、「土地になじみや愛着があるから」（50.6%）、「周囲の環境が良いから」（48.1%）、「住宅に満足しているから」（37.6%）の順となっています。



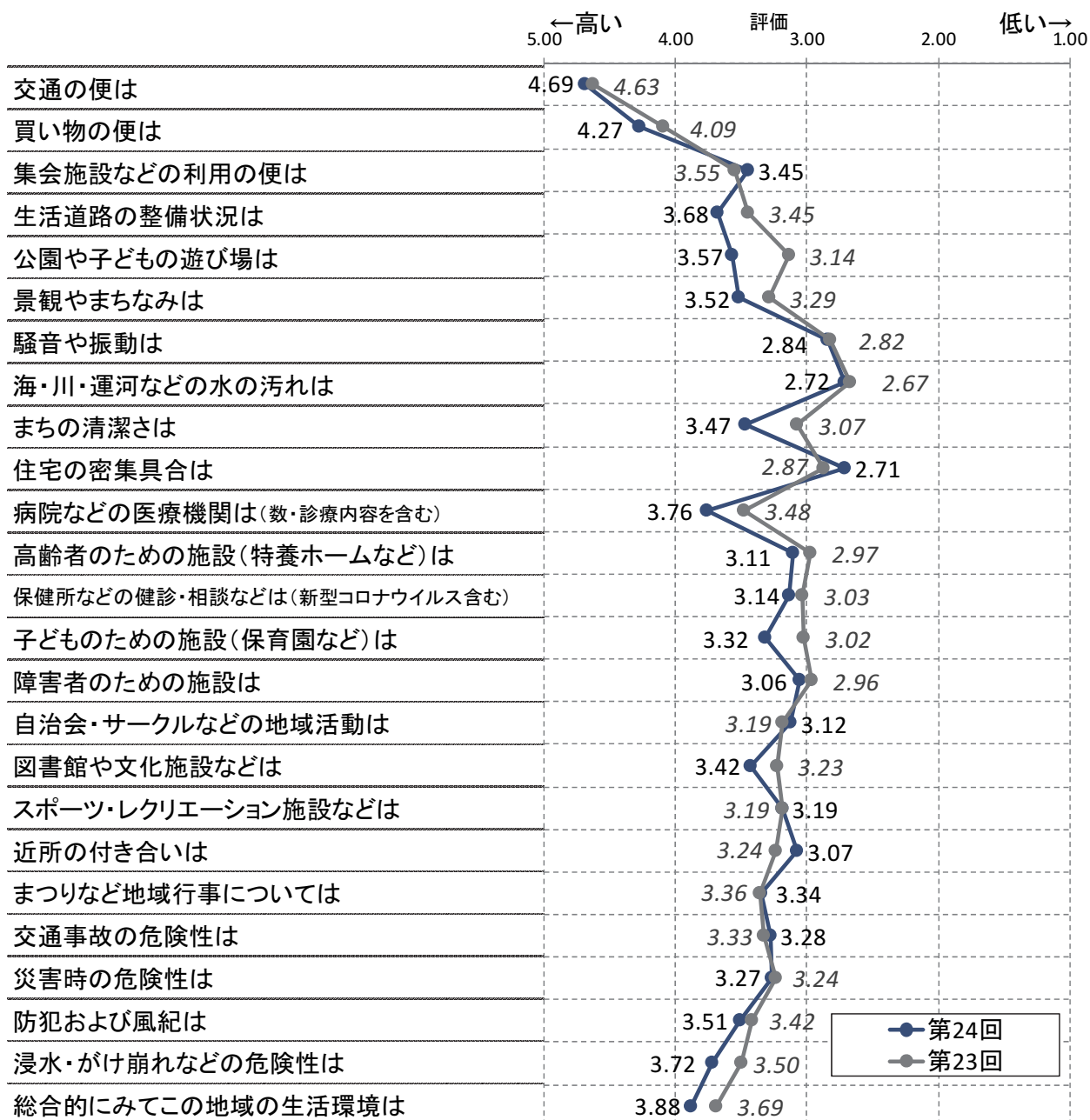
(※)「近所付き合いや地域の連帯感があるから」は2018(平成30)年調査では「近所との付き合いがうまくいっているから」

## 2 生活環境について

### ■ 生活環境についての評価

#### 交通や買い物の便での評価が高く、環境面での評価がやや低い

生活環境を評価点でみると、「交通の便」「買い物の便」は4点を超える高い評価点となっています。他方、「騒音や振動」「海・川・運河などの水の汚れ」「住宅の密集具合」といった、生活の快適さに関する項目で評価点がやや低くなっています。



評価点 = (「良い」の回答者数×5点 + 「やや良い」の回答者数×4点 + 「普通」の回答者数×3点 + 「やや悪い」の回答者数×2点 + 「悪い」の回答者数×1点) ÷ 回答者数

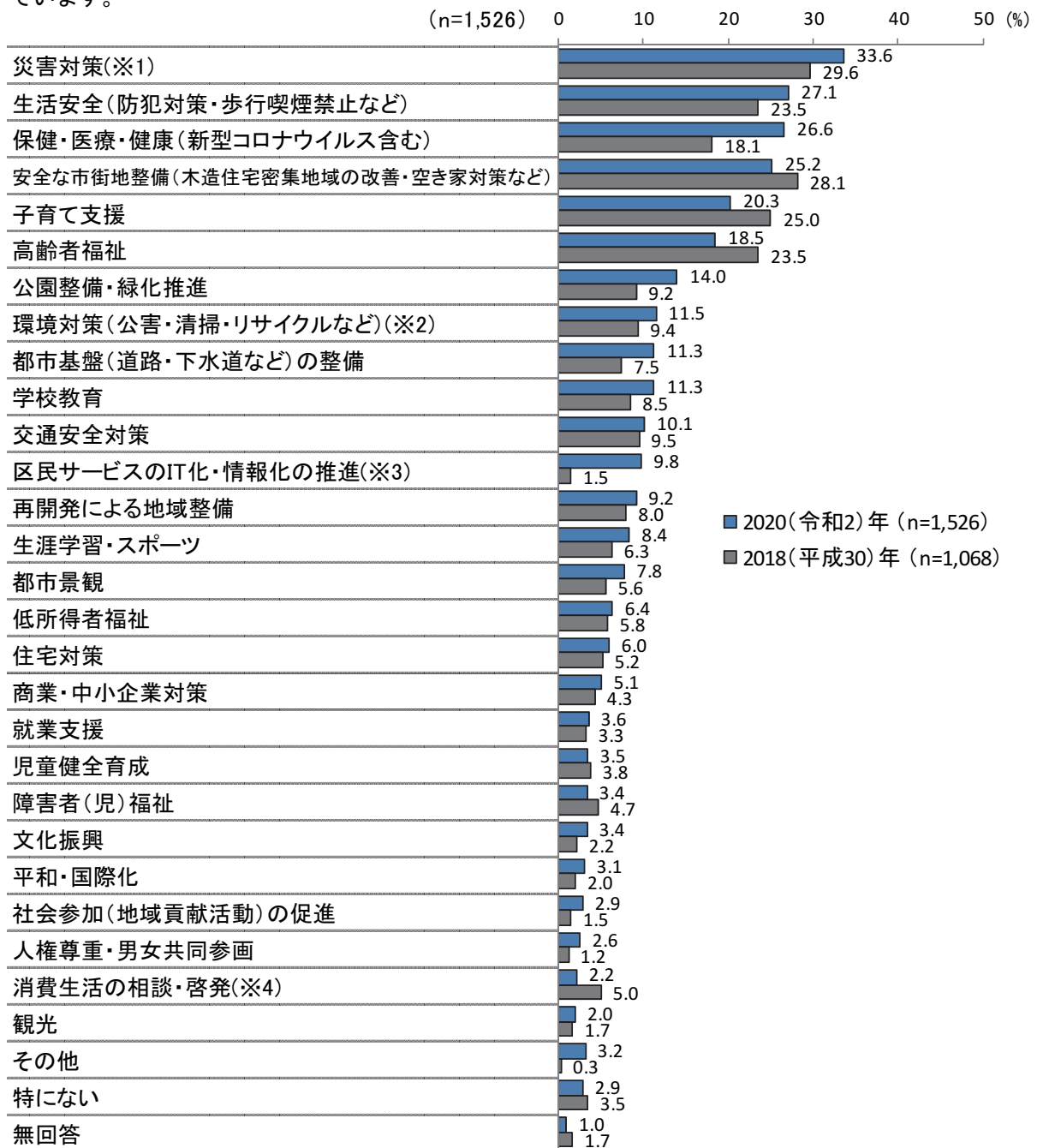
図中、黒字は2020(令和2)年の評価点を、灰色(斜体)は2018(平成30)年の評価点を示します。

### 3 重点施策について

#### ■ 今後特に力を入れてほしい施策

「災害対策」、「生活安全（防犯対策・歩行喫煙禁止など）」「保健・医療・健康（新型コロナウイルス含む）」が上位3項目

区の施策の中で、今後特に力を入れてほしい施策は、「災害対策」が33.6%で最も高く、次いで「生活安全（防犯対策・歩行喫煙禁止など）」（27.1%）、「保健・医療・健康（新型コロナウイルス含む）」（26.6%）、「安全な市街地整備（木造住宅密集地域の改善・空き家対策など）」（25.2%）の順となっています。



(※1) 「災害対策」は2018(平成30)年調査では「防災対策」

(※2) 「環境対策(公害・清掃・リサイクルなど)」は2018(平成30)年調査では「環境問題(公害・清掃・リサイクルなど)」

(※3) 「区民サービスのIT化・情報化の推進」は2018(平成30)年調査では「地域情報化(ICT)」

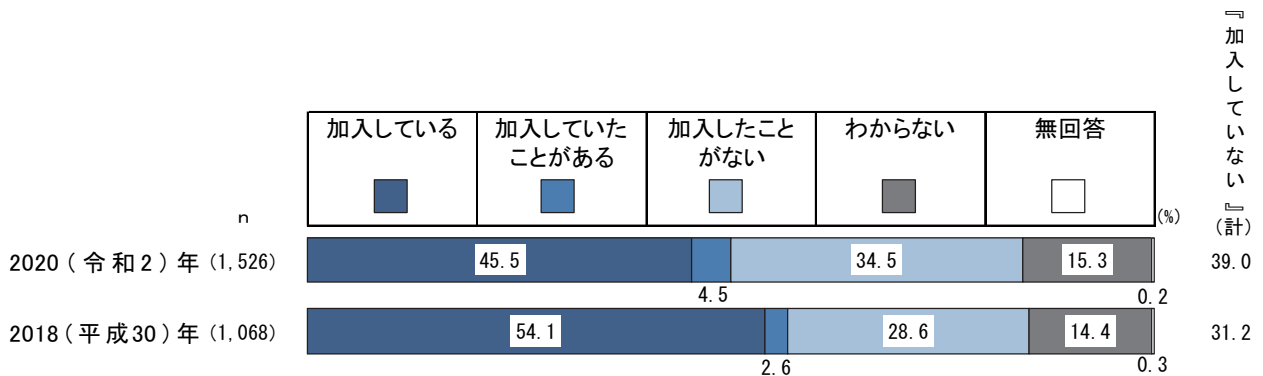
(※4) 「消費生活の相談・啓発」は2018(平成30)年調査では「消費者問題」

## 4 地域活動への参加について

### ■ 町会・自治会の加入状況

#### 「加入している」が4割半ば

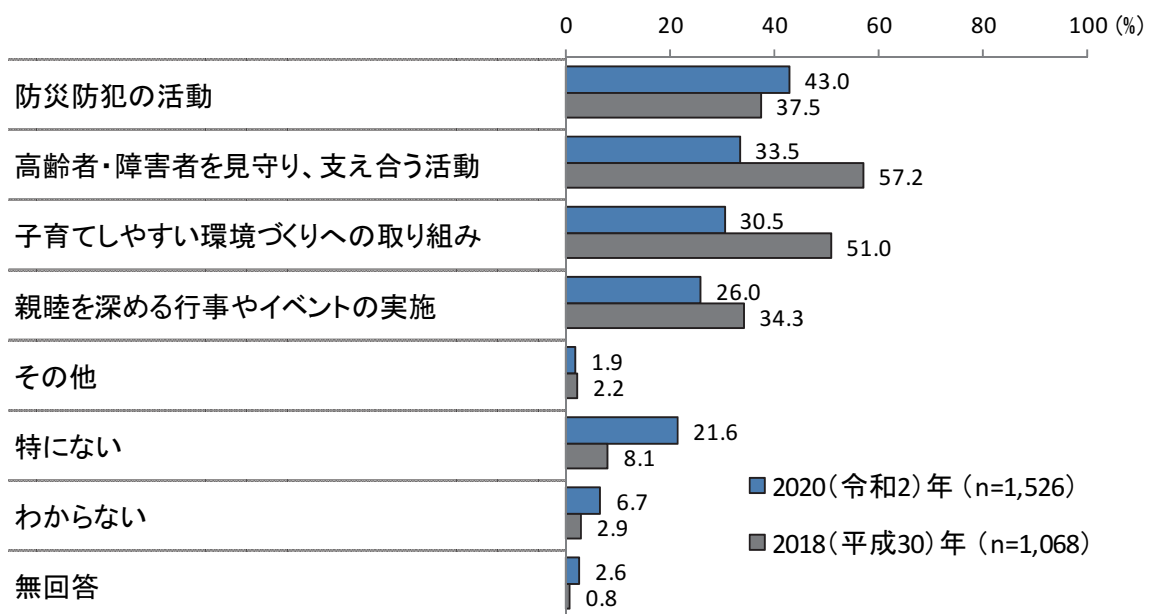
町会・自治会の加入状況をたずねたところ、「加入している」が45.5%で4割半ばとなっています。一方、「加入していたことがある」（4.5%）と「加入したことがない」（34.5%）を合わせた『加入していない』は39.0%となっています。



### ■ 町会・自治会に期待すること

#### 「防災防犯の活動」が4割を超える

町会・自治会に期待することをたずねたところ、「防災防犯の活動」が43.0%で最も高く、次いで「高齢者・障害者を見守り、支え合う活動」（33.5%）、「子育てしやすい環境づくりへの取り組み」（30.5%）、「親睦を深める行事やイベントの実施」（26.0%）の順となっています。

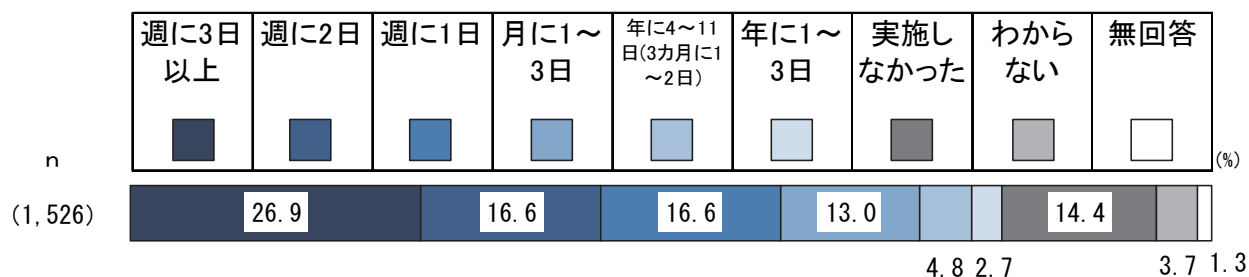


## 5 地域スポーツの推進について

### ■ 運動やスポーツを行う頻度

「週に3日以上」が2割半ば、「実施しなかった」が1割半ば

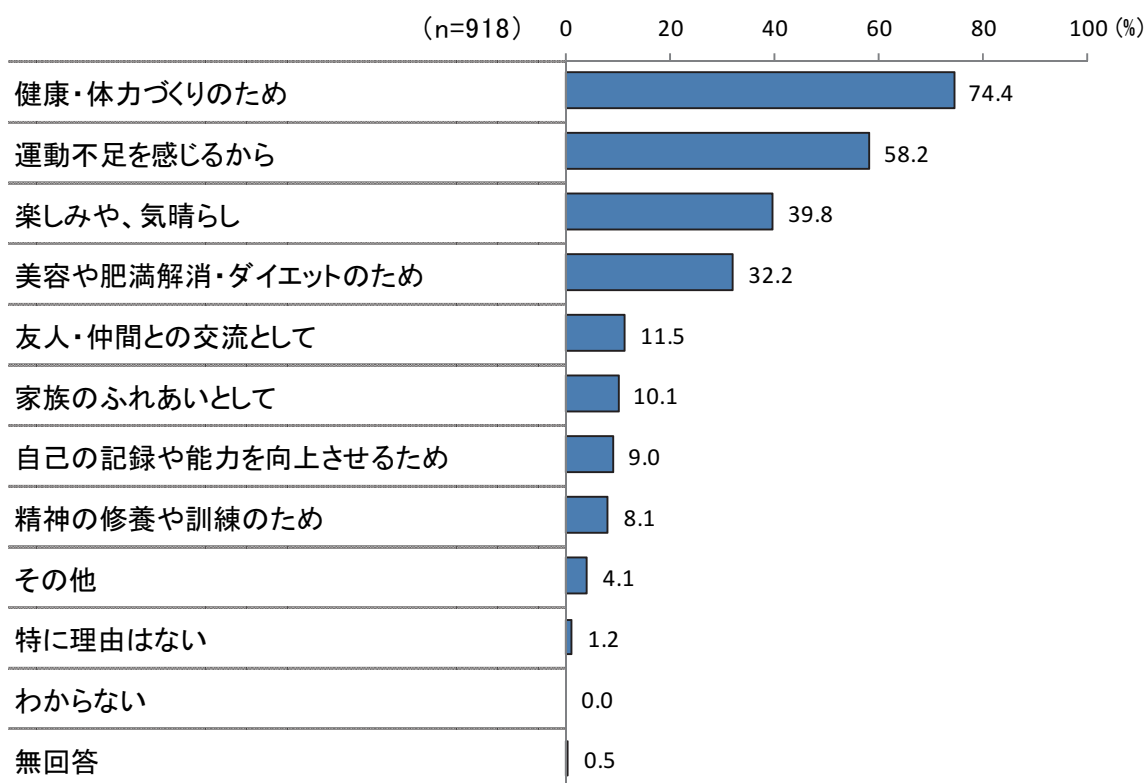
運動やスポーツを行う頻度をたずねたところ、「週に3日以上」が26.9%で最も高く、次いで「週に2日」、「週に1日」（同率、16.6%）、「月に1～3日」（13.0%）となっており、週に1日以上実施した方が60.1%となっています。一方、「実施しなかった」は14.4%となっています。



### ■ 週に1日以上実施した理由

「健康・体づくりのため」が7割半ば

運動やスポーツを実施した理由をたずねたところ、「健康・体づくりのため」が74.4%で最も高く、次いで「運動不足を感じるから」（58.2%）、「楽しみや、気晴らし」（39.8%）、「美容や肥満解消・ダイエットのため」（32.2%）、「友人・仲間との交流として」（11.5%）の順となっています。

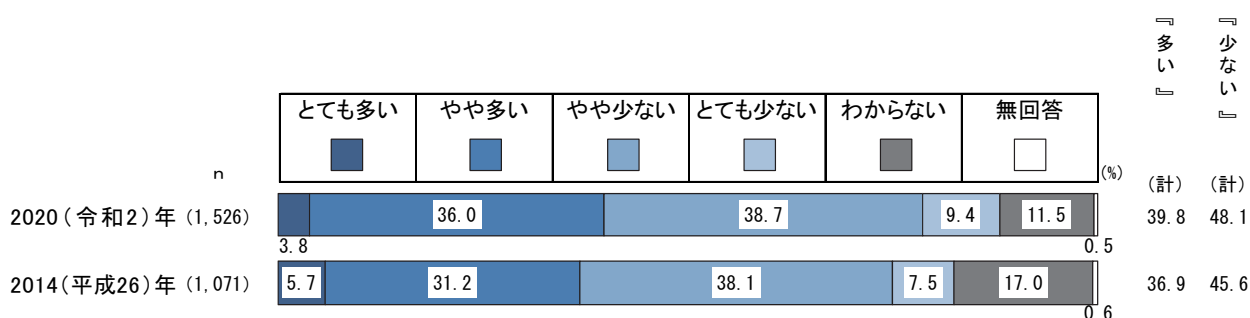


## 6 みどりについて

### ■ 品川区のみどりについて

#### 『多い』が4割弱

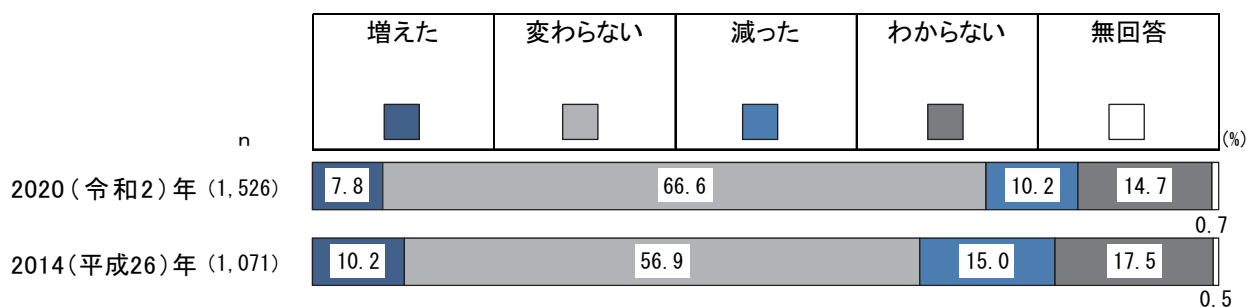
品川区のみどりについてたずねたところ、「とても多い」(3.8%)と「やや多い」(36.0%)を合わせた『多い』は39.8%となっています。一方、「やや少ない」(38.7%)と「とても少ない」(9.4%)を合わせた『少ない』は48.1%となっています。



### ■ 周辺のみどりの変化

#### 「変わらない」が6割半ば

住居周辺のみどりの変化についてたずねたところ、「増えた」が7.8%、「変わらない」が66.6%、「減った」が10.2%となっています。



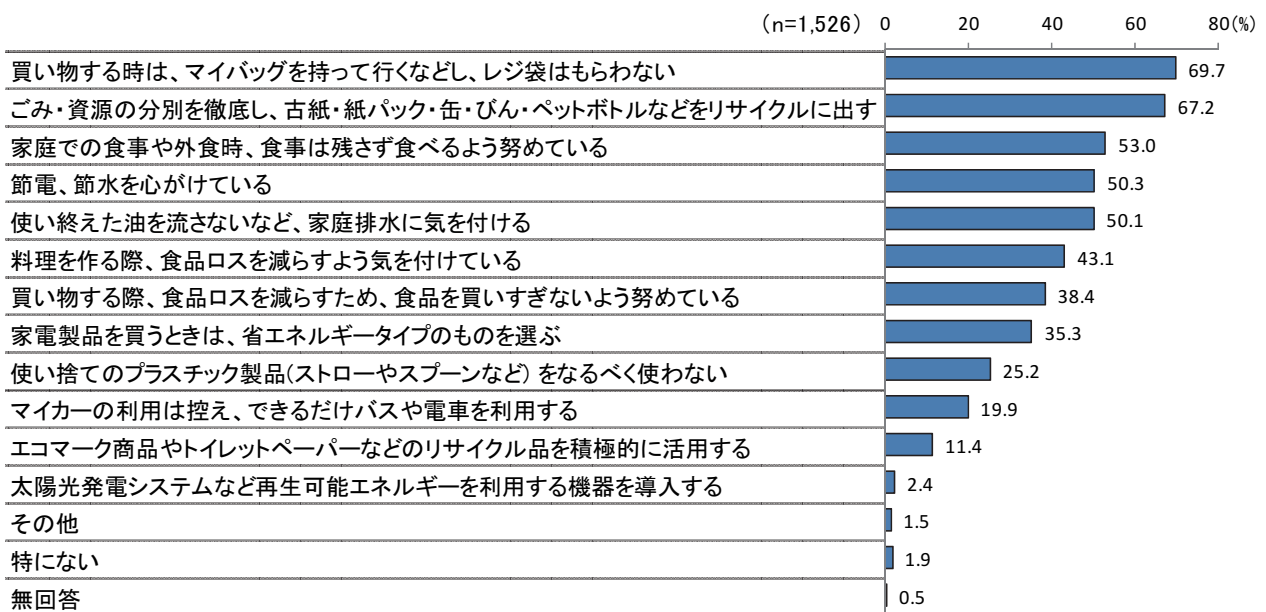


## 7 環境について

### ■ 環境を守るために日常生活で心がけていること

「買い物する時は、マイバッグを持っていくなどし、レジ袋はもらわない」が約7割

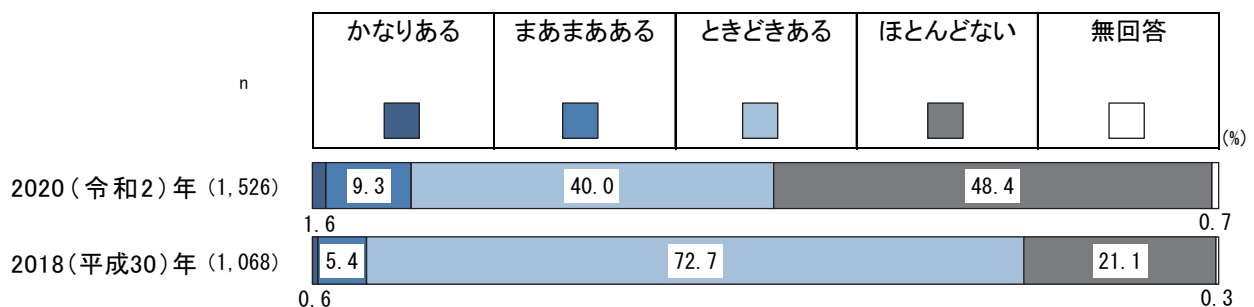
環境を守るために日常生活で心がけていることをたずねたところ、「買い物する時は、マイバッグを持っていくなどし、レジ袋はもらわない」が69.7%で最も高く、次いで「ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出す」（67.2%）、「家庭での食事や外食時、食事は残さず食べるよう努めている」（53.0%）、「節電、節水を心がけている」（50.3%）、「使い終わった油を流さないなど、家庭排水に気を付ける」（50.1%）の順となっています。



### ■ まだ食べられるのに捨ててしまうこと

「ときどきある」が4割

食品がまだ食べられるのに捨ててしまうことがあるかたずねたところ、「かなりある」が1.6%、「まあまあある」が9.3%、「ときどきある」が40.0%となっています。一方、「ほとんどない」は48.4%となっています。

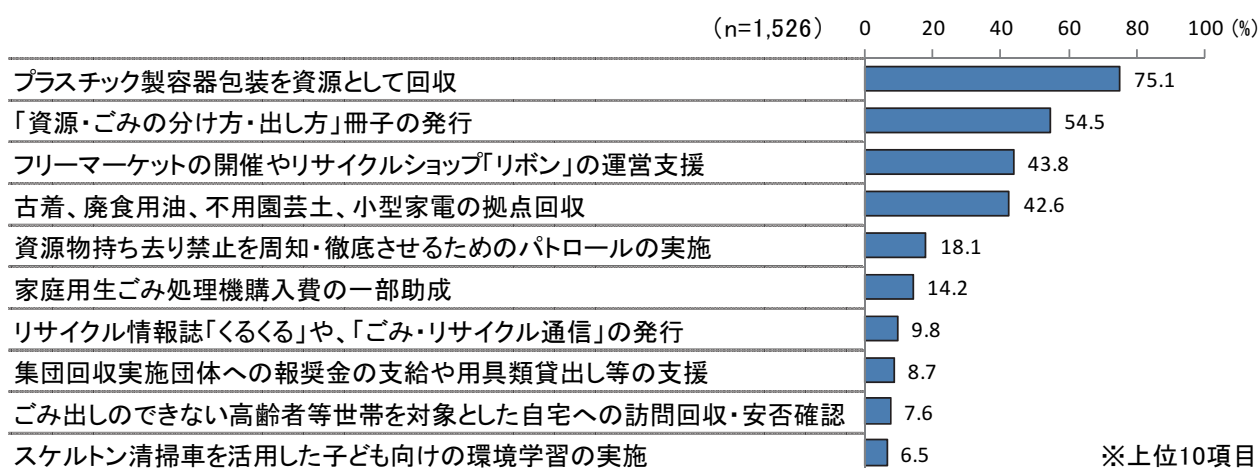


## 8 ごみ減量・リサイクルについて

### ■ 各種事業の認知度

#### 「プラスチック製容器包装を資源として回収」が7割半ば

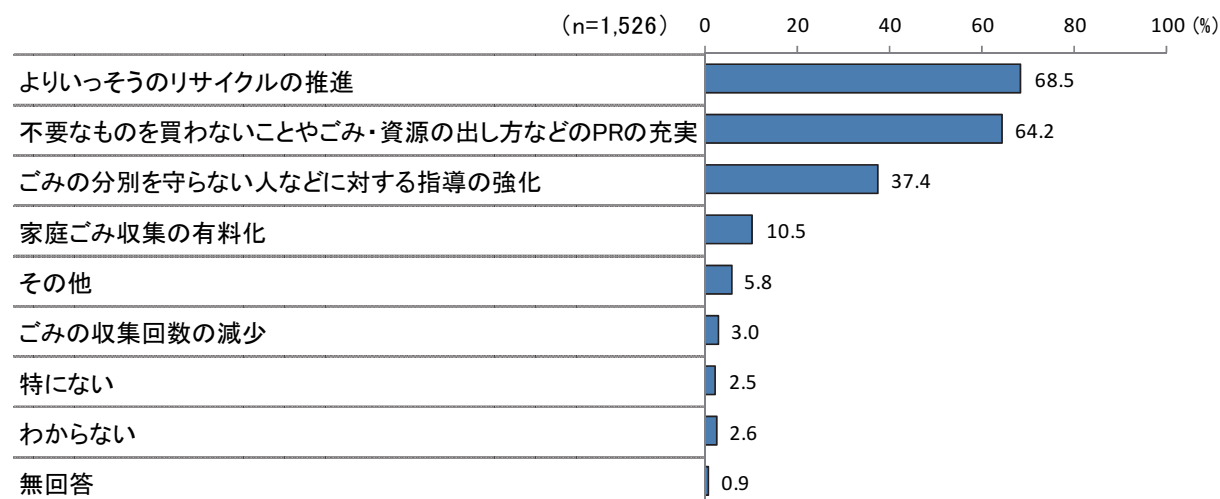
各種事業の認知度をたずねたところ、「プラスチック製容器包装を資源として回収」が75.1%で最も高く、次いで、「資源・ごみの分け方・出し方」冊子の発行（54.5%）、「フリーマーケットの開催やリサイクルショップ「リボン」の運営支援」（43.8%）、「古着、廃食用油、不用園芸土、小型家電の拠点回収」（42.6%）の順となっています。



### ■ 今後の事業で必要なこと

#### 「よりいっそうのリサイクルの推進」が7割近く

今後のごみ・リサイクル事業で必要と思われることをたずねたところ、「よりいっそうのリサイクルの推進」が68.5%で最も高く、次いで、「不要なものを買わないことやごみ・資源の出し方などのPRの充実」（64.2%）、「ごみの分別を守らない人などに対する指導の強化」（37.4%）の順となっています。

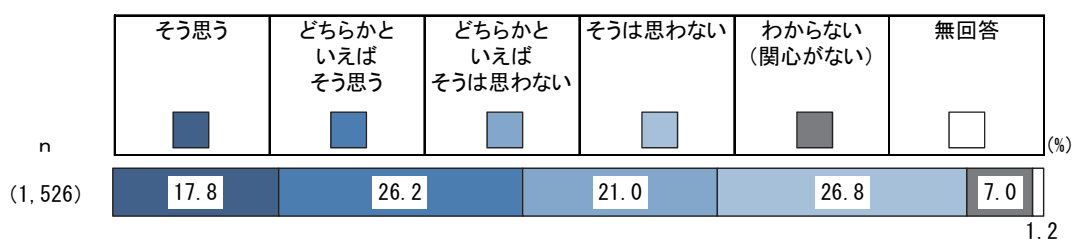


## 9 心の健康について

### ■ 自殺対策は自分自身に関わることだと思うか

#### 『思う』が4割半ば

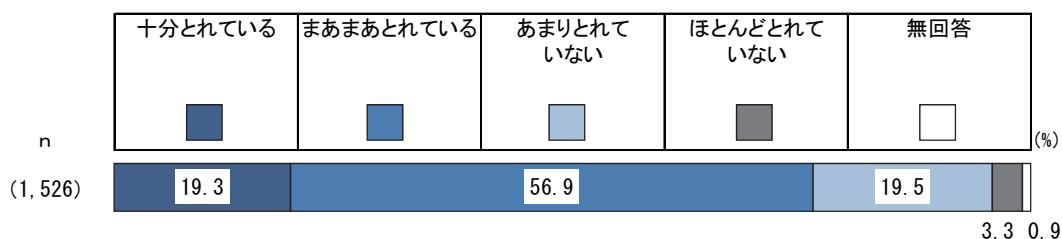
自殺対策は自分自身に関わることだと思うかたずねたところ、「そうは思わない」が26.8%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」（26.2%）、「どちらかといえばそうは思わない」（21.0%）の順となっています。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた、自殺対策は自分自身に関わることだと『思う』は44.0%でした。



### ■ 心や身体の休養が十分にとれているか

#### 「まあまあとれている」が5割半ば

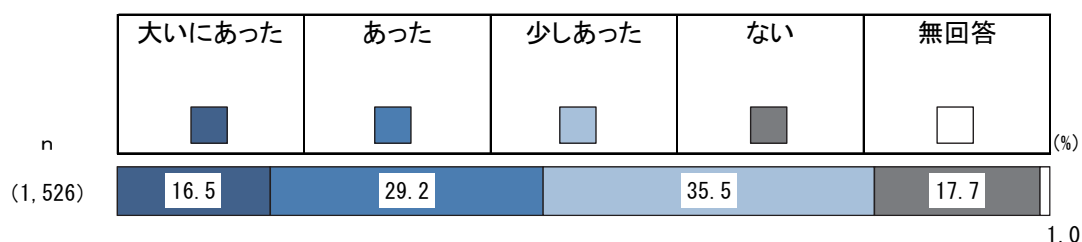
心や身体の休養が十分にとれているかたずねたところ、「まあまあとれている」が最も高く、56.9%となっています。次いで、「あまりとれていない」（19.5%）、「十分とれている」（19.3%）の順となっています。



## ■ 1カ月間に不安や悩み、ストレスがあったか

### 「少しあった」が3割半ば

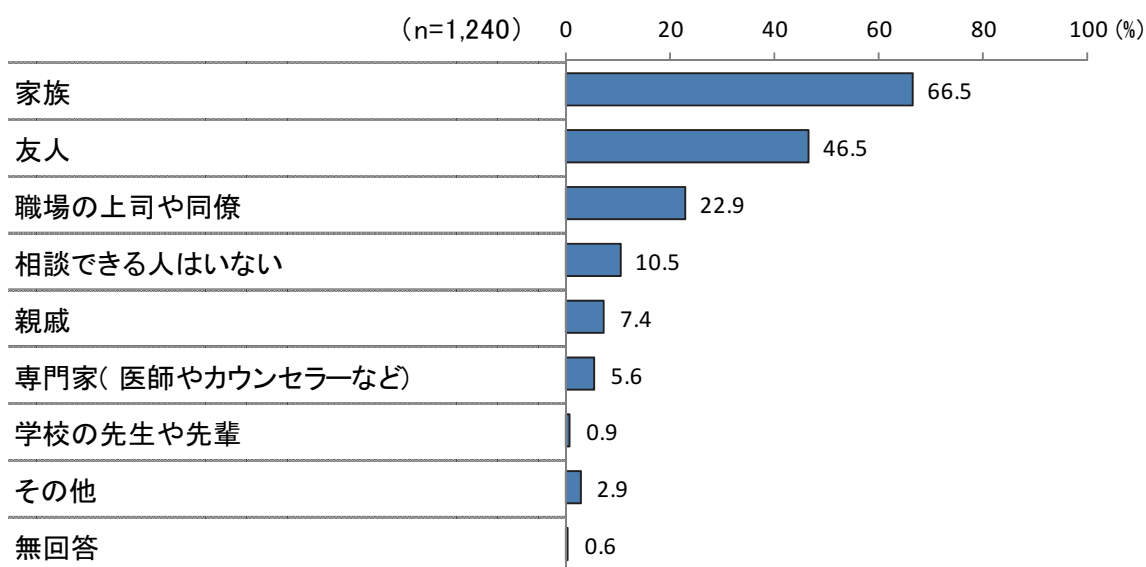
この1カ月間に日常生活で不安、悩み、ストレスなどがあつたかたずねたところ、「少しあつた」が最も高く、35.5%となっています。次いで、「あつた」(29.2%)、「ない」(17.7%)、「大いにあつた」(16.5%)の順となっています。



## ■ 不安、悩みを相談する人はいるか

### 「家族」が6割半ば

不安、悩みを相談する人はいるかたずねたところ、「家族」が最も高く、66.5%となっています。次いで、「友人」(46.5%)、「職場の上司や同僚」(22.9%)の順となっています。

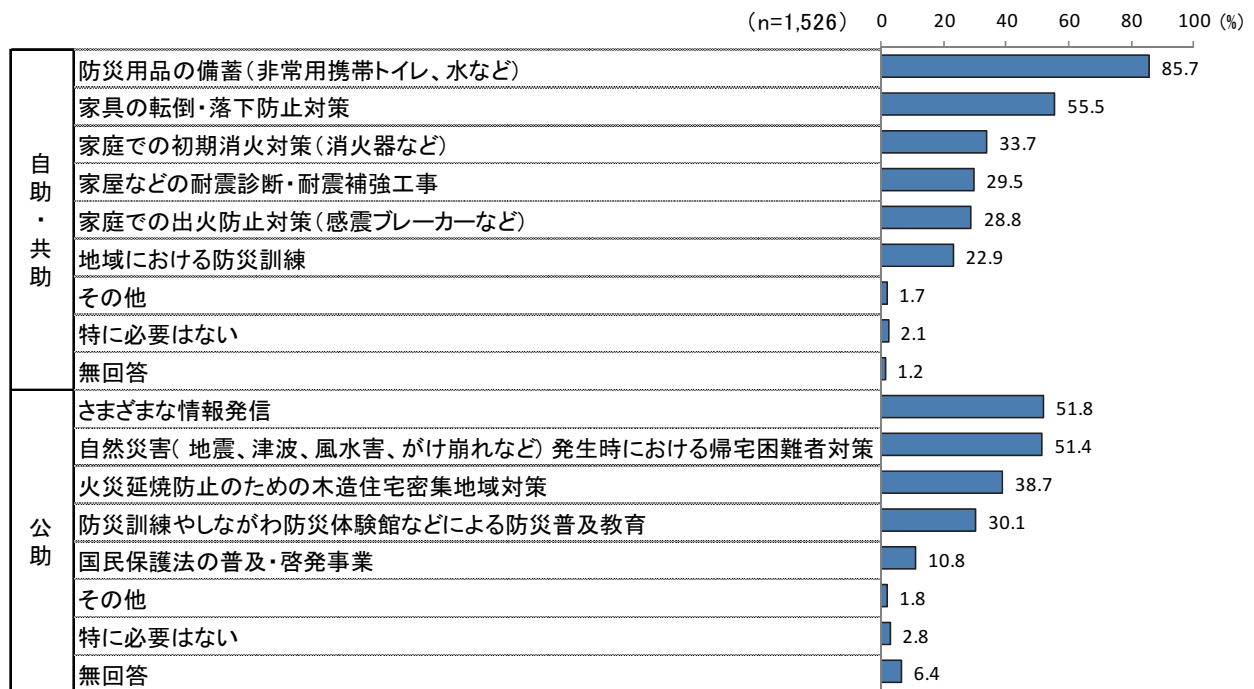


# 10 防災について

## ■ 今後充実すべき防災対策

自助・共助では「防災用品の備蓄」、公助では「さまざまな情報発信」が高い

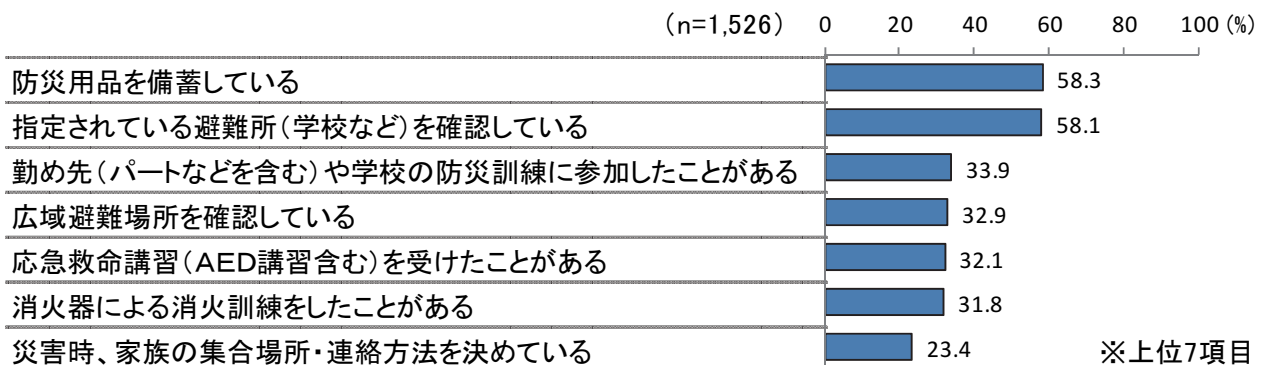
今後充実すべき防災対策についてたずねたところ、＜自助・共助＞では「防災用品の備蓄（非常用携帯トイレ、水など）」が85.7%と最も高く、次いで「家具の転倒・落下防止対策」（55.5%）となっています。＜公助＞では「さまざまな情報発信」が51.8%と最も高く、次いで「自然災害（地震、津波、風水害、がけ崩れなど）発生時における帰宅困難者対策」（51.4%）となっています。



## ■ 防災に関して既に行っていること

「防災用品を備蓄している」が6割近く

防災に関して既に行っていることをたずねたところ、「防災用品を備蓄している」が58.3%と最も高く、次いで、「指定されている避難所（学校など）を確認している」（58.1%）、「勤め先（パートなどを含む）や学校の防災訓練に参加したことがある」（33.9%）の順となっています。

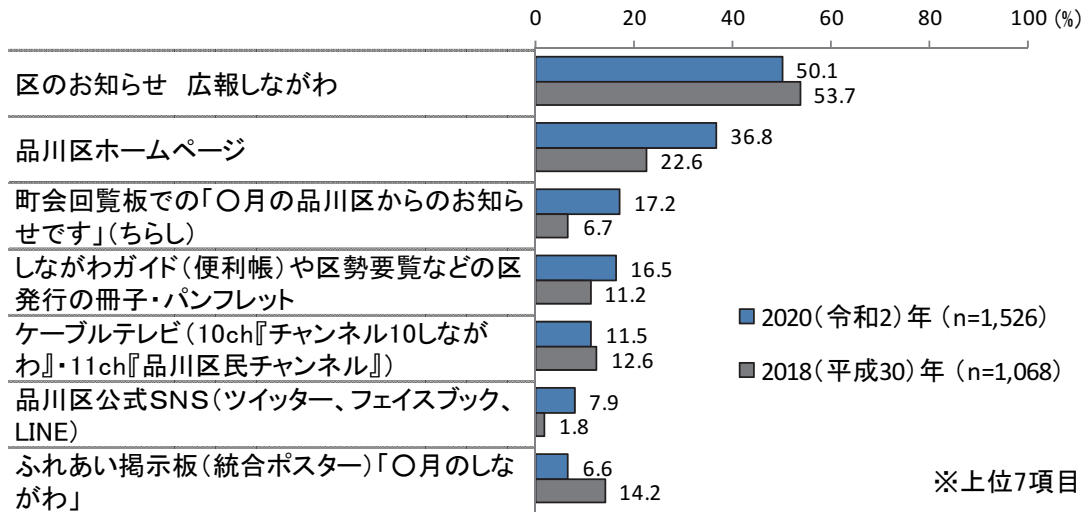


# 11 広報と情報化について

## ■ 区に関する情報の入手先

### 「区のお知らせ 広報しながわ」が約5割

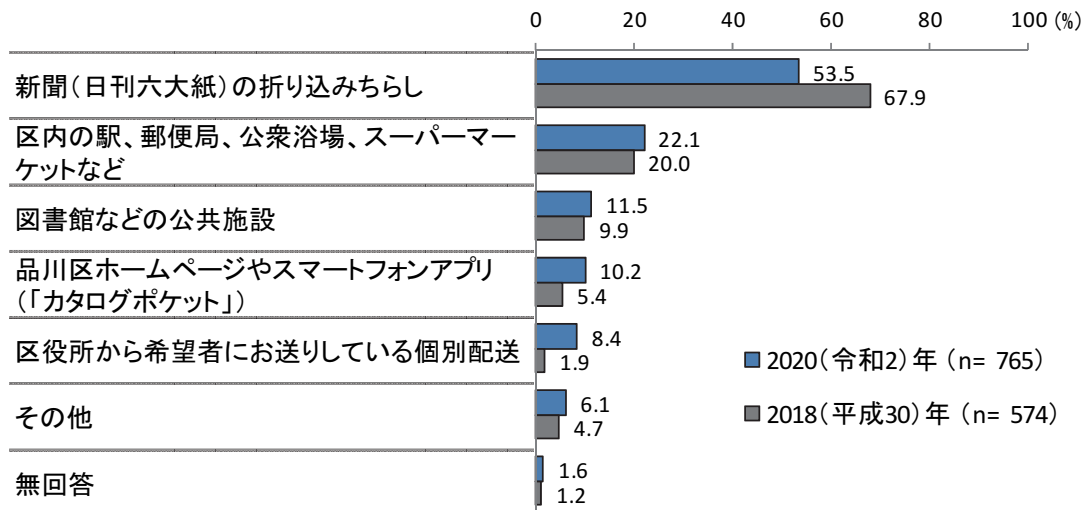
区に関する情報の入手先をたずねたところ、「区のお知らせ 広報しながわ」が50.1%で最も高く、次いで、「品川区ホームページ」（36.8%）、「町会回覧板での「〇月の品川区からのお知らせです」（ちらし）」（17.2%）の順となっています。



## ■ 「広報しながわ」の入手先

### 「新聞の折り込みちらし」が5割を超える

「広報しながわ」の入手先をたずねたところ、「新聞（日刊六大紙）の折り込みちらし」が53.5%で最も高く、次いで、「区内の駅、郵便局、公衆浴場、スーパーマーケットなど」（22.1%）、「図書館などの公共施設」（11.5%）、「品川区ホームページやスマートフォンアプリ（「カタログポケット」）」（10.2%）、「区役所から希望者にお送りしている個別配送」（8.4%）の順となっています。

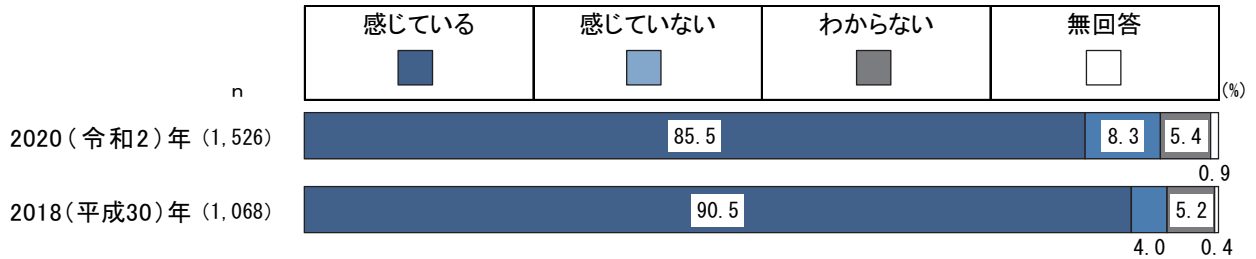


## 12 シティプロモーションについて

### ■ 愛着や親しみ、誇り

#### 『感じている』が8割半ば

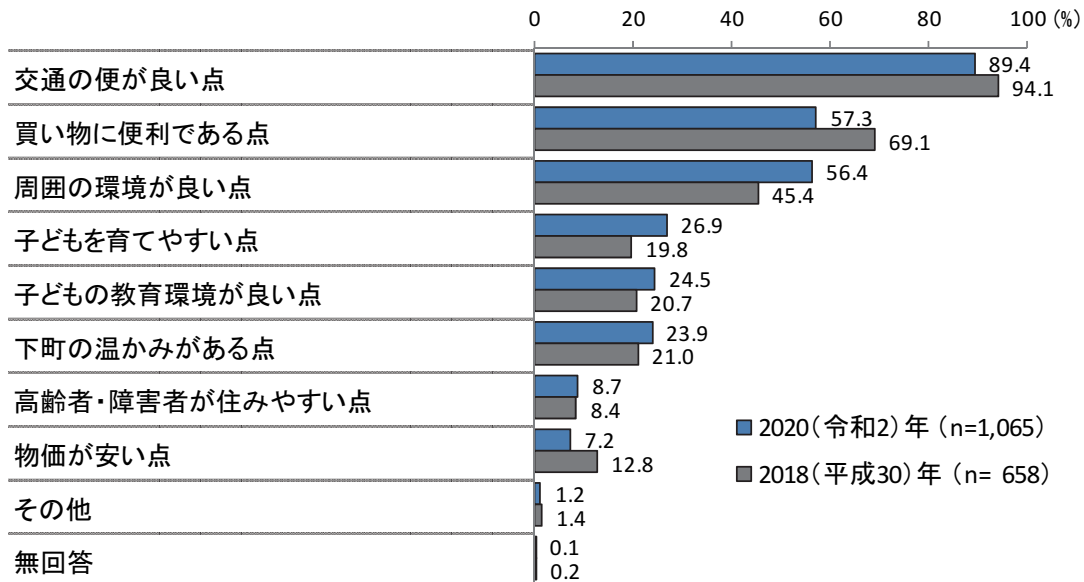
品川区への愛着や親しみ、誇りについてたずねたところ、「どちらかといえば感じている」が最も高く49.2%、次いで「感じている」が36.3%となっています。「感じている」と「どちらかといえば感じている」を合わせた『感じている』は85.5%であり、非常に高い割合となっています。



### ■ 薦めたい点

#### 「交通の便が良い点」が9割近く

品川区の薦めたい点についてたずねたところ、「交通の便が良い点」が89.4%で最も高く、次いで、「買い物に便利である点」(57.3%)、「周囲の環境が良い点」(56.4%)の順となっています。







第24回品川区世論調査 要約版  
2021（令和3）年1月



発行 品川区企画部広報広聴課  
品川区広町2-1-36  
03（5742）6643（直通）

実施 株式会社 CCN グループ  
東京都千代田区神田鍛冶町3-7-4  
03（6262）9716

古紙を配合した紙を使用しています